よりよい港区づくりに貢献する

港新聞 MINATO SHIMBUN

第144号（再刊第61号）

発行　港新聞社（代表・飯田吉一）
〒552-0005 大阪市港区田中３-３-３
TEL06-6571-4636 FAX06-6571-4636
（毎月10～15日、港区全域に33,000部を戸別配布）

2011年８月15日（月）

港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、共に考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

俺は現場仕事が好きや！

「♪君の行く道は果てしなく遠い－」（昭和四十一年『若者たち』）。いつの時代にも若者は世の希望であり、地域の宝です。どんな暗い世相でも、純粋な心とまっすぐな行動で人々を励ましてきました。今、先の見通せない平成不況の只中で、世のため地域のため、家族のため自分のために何が出来るのかを探りつつ、懸命に生きる港区の若者たちを追いました。シリーズ第一回は、楽で綺麗な仕事ではなく、敢えてきつい現場仕事へ飛び込んだ一人の青年にスポットを当てました。

港の若者たち

解体業に情熱燃やす 佐久間 竜也さん（24）（八幡屋）

段取り考え仲間と協力
きつい・汚い・危険…何のその
難しい現場ほど燃える

▲段取りや仲間との連携に喜びを感じながら解体業に情熱を燃やす佐久間竜也さん（右から2人目）＝7月25日、此花区春日出の現場で

バリバリ、メリメリ－。屋根を、壁を、柱を、ユンボ（油圧ショベル）が次々と潰し、廃材と瓦礫の山が築かれていきます。その傍で、安全帽をかぶり、バールを持った若者二人がユンボを補佐するように動きます（これを業界用語で「手元」といいます）。焼けつくような日差しの中、シートに囲まれた十数メートル四方の空間に土埃が舞い上がります。七月二十五日の朝、此花区の一角にある解体現場。元は古いアパートでした。ユンボが入って三日目。あと数日で更地になり、建設業者に引き継がれるのです。

現場を任されているのは佐久間竜也さん。総合解体請負業「道建」（夕凪２）の従業員です。この日はもう一人の青年とユンボの手元も務めました。３K（きつい・汚い・危険）を絵に描いたようなこの業界で既に五年。安全帽に安全靴、独特の裾広がりズボンも体に馴染み、顔の汗が労働の喜びに光っていました。

◆19歳の決断

佐久間さんは港区田中生まれの二十四歳。田中小、港南中を経て高校卒業後、車が好きなことから地元の自動車整備会社に就職。十カ月ほど働きましたが、「中の仕事は俺に向いてない」「現場の仕事がしたい」と退社。親方の息子が声をかけてくれたことから「道建」で働くことになりました。十九歳での決断でした。

道建での仕事は朝八時から夕方五時まで。現場は市内を中心に京阪神などのマンションやアパート。一現場の工期は数日から一カ月。作業は主に、①足場を組んでシートで囲う②内部のゴミや家具や内装をバラして運び出す③ユンボを敷地に入れる④ユンボと手元で建物を解体する⑤廃材をトラックで運び出す⑥シートと足場を外す⑦更地にする－という手順で行います。

◆生活習慣変えながら

常に危険と隣り合わせの解体現場。強い体力と共に細心の注意も要求される

こうした仕事を佐久間さんは親方から「見て覚えろ」「体で覚えろ」と教えられ、親方や先輩の仕事ぶりから段取りや作業のコツを一つ一つ覚えていきました。

また現場仕事は朝早いのが特徴。毎朝五時半に起床、朝食を済ませて六時半には仲間と顔を合わせ、八時には現場に入らねばなりません。そのため夜も八時には床に就きます。最初はその変化が辛く、遅刻もしましたが、仕事に合わせて生活習慣を変えていきました。

【2面につづく】

現場では仲間と呼吸を合わせることが不可欠。それがまた仕事の喜びにつながる

石綿の不安がある人は継続的に 肺癌検診 結核健診
11月29日(火) AM9:30～10:30 肺癌検診
港区保健福祉センターで
X線撮影無料・喀痰検査400円＜要予約・40歳以上＞
8/26(金)PM2:30～4:00同センターで無料結核健診
詳しくは☎6576-9882港区保健福祉センターへ

本紙の存続へ カンパの訴え

継続的なご支援に心より感謝致します。創刊以来、「よりよい港区づくりに貢献する」を目的に発行を続けておりますが、昨今の不況で広告収入が減少し、経費を極力削減するなど鋭意努力していますが、なお厳しい運営が続いています。存続へ読者の皆様のカンパを重ねて訴えるものです。

振込先：近畿大阪銀行九条支店（普）１４２３５９３港新聞

次号は９月10～15日戸別配布

港新聞は港図書館、港区民センター、港区老人福祉センター、弁天町市民学習センター、コンビニ、銭湯、ひまわり、港近隣センター等にも設置しています。

紙資源節約と環境保全のため名前のないポストには配布していません。ご了承下さい。

あさやけ

戦艦大和の生き残り兵を訪ねたら、既に語る体力を残しておられず、知覧特攻基地近くで終戦を迎えた高齢女性は取材直前に入院－。「戦争体験」（８面）の語り部探しが難航し、毎号綱渡りの編集が続いています▼戦後も六十六年。当然といえば当然ですが、それでも「平和のため」「次の世代のため」と、戦地体験を持っておられそうな超高齢者を見れば声をかける今日この頃。この世代がまるで宝物のように見えてくるから不思議です▼というより実際、戦中世代は地域の宝に違いありません。その頭の中には戦闘や空襲の映像のみならず、今の日本で薄れつつある祖国愛や郷土愛、同志愛、忍耐、自己犠牲などが生き生きした姿で詰まっているからです。悲惨な戦争実態と共に、こうしたものの価値を浮き上がらせることも「戦争体験」欄の役割だと思っています▼終戦記念日にあたり、戦地、中でも悲惨だった南方戦線の証言を求めています。お知らせ下さい。

今のうち聴いておこう親の歴史！
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
父は徳島から上阪して鉄工所に就職し、労働運動を通じて母と結婚。私にも組合の大切さなどをよく語ってくれましたが、退職８年後から入院生活に。今のうち父の人生をと、病床での語りを文章にして頂きました。娘として感謝しています。（40代女性、総料金７万円）
400字（原稿用紙１枚）で千円が標準料金です。
田中3-3-3 飯田編集事務所 ☎6571-4636

介護タクシー 8月開業
車イスのない、歩行困難な方もご利用OK！
お問い合せ・ご予約は24時間受付 年中無休
CARE・TAXI パートナー
詳しいパンフレットおくります ＜担当:カショウ＞
介護タクシー パートナー 携帯 080-3774-7844 FAX 06-6577-9301

毎月11日は津～ちゃんデー
中生など指定ドリンクは何杯のんでも300円！
他にもサービスあり＜当日木曜なら10日やで＞
二代目・津田幸樹(21)
味で勝負！
やきとり もつやき 津～ちゃん
磯路3-1-1バス停港区役所前 定休日:木曜
☎6574-5137 営業17:30～23:30（ラストオーダー23:00）

駐車場 月極 18,900円(税込)
★24時間入出庫可
★屋内につき安心
★敷金は１カ月分
★車庫証明発行可
一時預り大歓迎！ 100円/20分 昼間最大1,000円（8:00～20:00） 1泊2日最大2,000円
カービレッジ216
港区磯路２丁目１-４
＜営業＞AM8時～PM8時
☎6577-8731
中央大通り・市岡中・ゆめタウン・オリーブ・大和医院・みなと通り・港郵便局・43号線（九条・境川方面）（朝潮橋方面）

港区一安いくすりやさん
とにかく安い！とにかく多い！とにかく親切！
関節にいい！と話題の健康食品
コンドロイチン・グルコサミン・ヒアルロンサン・コラーゲン 配合製剤
10%OFF〈8/14(日)～27(土)〉
くすり・化粧品・日用雑貨
青木薬店
☎6577-5561 八幡屋1-2-2 ＜年中無休＞
中央体育館・大阪プール・みなと通・たこ郎・サンディ・笹尾医院